

南魚沼セミナー 2015.3.7

# 2030年の世界と日本の課題

国際大学副学長  
信田智人

# 日本アカデメイア・長期ビジョン研究会

- \* 経済界・労働界・学界・官僚・政治家が参加
- \* 日本のビジョンを本気・本音で議論する
- \* 「人材交流の仕組みづくり」
- \* 2030年頃の日本の長期ビジョン作成
- \* 月1回、組織の枠をこえ密度の高い議論

# 日本アカデミア・長期ビジョン研究会

## メンバーとグループ編成

	日本力	国際問題	価値創造経済モデルの構築	社会構造	統治構造
<b>共同座長</b>	岡村正（東芝相談役） 福川仲次（東洋大学理事長）	茂木友三郎（キョコマン名誉会長） 北岡伸一（国際大学学長）	長谷川閑史（武田薬品工業社長） 坂根正弘（マツ相談役）	濱田純一（東京大学総長） 清家篤（慶應義塾長）	佐々木毅（明るい選挙推進協会会長） 大橋光夫（昭和電工最高顧問）
<b>企業 氏名 50 音順</b>	石原邦夫・東京海上日動火災保険相談役 岩沙弘道・三井不動産会長 大橋洋治・ANAホールディングス会長 大林剛郎・大林組会長 大八木成男・帝人会長 大山健太郎・アイソナマ社長 小野寺正・KDDI 会長 古賀信行・野村証券会長 越村敏昭・東京急行電鉄会長 鈴木茂晴・大和証券グループ本社社長 永山治・中外製薬会長兼 CEO 本田勝彦・日本たばこ産業顧問 佐藤誠一郎・セブソ&アイHD 執行役員 船戸崇・三菱重工工業取締役常務執行役員 CAO/CRO	井上礼之・サッポロ工業会長兼 CEO 大橋洋治・ANAホールディングス会長 大林剛郎・大林組会長 岡素之・住友商事相談役 奥正之・三井住友フィナンシャルグループ 会長 小島順彦・三菱商事会長 堀場厚・堀場製作所会長兼社長	伊藤雅俊・味の素社長 大八木成男・帝人会長 大山健太郎・アイソナマ社長 小野寺正・KDDI 会長 金丸恭文・フューチャー・キタ会長兼社長 川合正矩・日本通運会長 新浪剛史・ローソン会長 藤森義明・LIXILグループ 社長兼 CEO 吉川廣和・DOWAホールディングス相談役 樹神幸夫・三菱重工工業取締役常務執行役員 兼 機械・システム・メンテナンス部長兼生産総括部長 福田俊司・昭和電工常務執行役員	有富慶二・ヤマトホールディングス相談役 大塚陸毅・東日本旅客鉄道相談役 加賀見俊夫・リエンテラメント 会長兼 CEO 木村恵司・三菱地所会長 古賀信行・野村証券会長 三浦愷・日本電信電話会長	岡村正・東芝相談役 木村恵司・三菱地所会長 坂根正弘・マツ相談役 永山治・中外製薬会長兼 CEO 長谷川閑史・武田薬品工業社長 本田勝彦・日本たばこ産業顧問
<b>労働組合</b>	逢見直人・UAゼンセン会長 堀秀成・自動車総連副事務局長 大久保暁子・連合国際局局长	有野正治・電機連合中央執行委員長 柴田謙司・NTT 労働組合 コミュニケーションズ 本部執行委員長 竹詰仁・連合国際局局长	山浦正生・運輸労連中央執行委員長 斗内利夫・UAゼンセン常任中央執行委員 末永太・連合経済政策局長	相原康伸・自動車総連会長 坂本達哉・日立製作所労働組合 中央副執行委員長 村上天陽子・連合非正規労働センター 総合局長	野田三七生・情報労連 中央執行委員長 難波淳介・全日通労働組合 中央執行委員長 仁平章・連合企画局長
<b>官僚 加コ内は入省 年次</b>	高橋道和・内閣官房教育再生実行会議 担当室長（内閣官房内閣審議官） 枝元真徹・水産庁資源管理部長 多田明弘・経済産業省大臣官房 政策評価審議官 栗田卓也・国土交通省大臣官房審議官 （総合政策、土地・建設産業） 兼大臣官房参事官（人事）	山崎和之・内閣官房内閣審議官 （国家安全保障局担当） 武内良樹・財務省大臣官房審議官 （国際局担当） 前田哲・内閣官房内閣審議官 （事態対処・危機管理担当）	木下賢志・内閣府大臣官房審議官 （経済財政運営担当） 塩川白良・農林水産省 東海農政局次長 西山圭太・経済産業省大臣官房 審議官（経済産業政策局担当） 藤井健・国土交通省大臣官房審議官 （国土政策局担当）	黒田武一郎・内閣官房副長官補付 内閣審議官 常盤豊・文部科学省高等教育局 私学部長 鈴木俊彦・厚生労働省大臣官房 審議官（雇用均等・児童家庭、 少子化対策担当）	山崎重孝・総務省大臣官房審議官 （地方行政・個人番号制度、 地方公務員制度・選挙担当） 垂秀夫・外務省大臣官房総務課長 藤井健志・財務省大臣官房審議官 （主税局担当）
<b>主査・学識者</b>	曾根泰教（慶應義塾大学大学院教授） 今井義典（立命館大学客員教授、元NHK 副会長） 小林慶一郎（慶應義塾大学教授） 高橋進（日本総合研究所理事長） 遠山敦子（トヨボリ理事長） 廣田尚子（ゲザイ・女子美術大学教授） 藤崎一郎（上智大学特別招聘教授、前駐米大使）	信田智人（国際大学研究所教授） 池内恵（東京大学准教授） 神保謙（慶應義塾大学准教授） 鈴木佑司（法政大学教授）	西岡幸一（専修大学教授）	玄田有史（東京大学教授） 宇野重規（東京大学教授） 駒村康平（慶應義塾大学教授） 原秀樹（国際交流基金企画部 事業戦略課課長）	飯尾潤（政策研究大学院大学教授） 谷口将紀（東京大学教授） 野中尚人（学習院大学教授） 増山幹高（政策研究大学院大学教授） 待鳥聡史（京都大学大学院教授）

# 2月5日アカデメイアフォーラム



日本アカデメイア  
発足3年懇



# 2030年に向けての大きな潮流

## \* 力の分散

- \* 覇権国家はなく、多極化
- \* 2028年頃中国のGDPが米国を抜く
- \* サイバーテロ、バイオテロなど破壊力のある技術の入手拡大

## \* 個人のパワーの増大(国家に対して)

- \* 貧困の減少
- \* 中産階級人口の増大  
(とくに中国とインドで世界の半分)
- \* 教育の向上
- \* 通信手段・製造技術の向上

# 2030年に向けての大きな潮流II

## \* 人口構造

- \* 高齢化=中間年齢45歳以上

- \* 2012年日本・ドイツ

- \* 2030年ほぼ欧州全体、韓国、台湾

- \* 60%が都市部在住

- \* 移民の増大

# 人口構造からみた「機会の窓」

\* 14歳以下30%以下、65歳以上15%以下  
= 15-64歳就業可能人口55%以上

英国(1950以前-1980)

ドイツ(1950以前——1990)

日本(1965——1995)

ロシア(1950 —————2015)

米国(1970 —————2015)

中国(1990 —————2025)

ブラジル(2000 —————2030)

イラン(2005 —————2040)

インド(2015 —————2050)



# 食糧・水・エネルギー

- \* 人口増加により需要拡大
  - \* 食糧需要 35% ↑
  - \* 水需要 40% ↑
  - \* エネルギー需要 50% ↑
- \* 各資源のリンクが強まる
- \* 2030年まで極端な気候変化の可能性
- \* 米シェールガス生産量によって変動
  - \* 500-1500万バレル



# 変化要因①世界的経済危機の可能性

- \* G7の負債 = GDPの3倍
  - \* 金融危機の可能性大
- \* 新興国依存
  - \* 経済成長の半分以上
  - \* 投資の約4割(増加分の7割)
- \* 中国 = 経済成長の1/3
  - \* 2025年までに低成長期に

# 変化要因②ガバナンスギャップ

- \* 国家の役割が低下
  - \* 非国家アクター、大都市など地域アクター
  - \* 地域主義の台頭
- \* 先進国・新興国間のコンセンサス欠如
  - \* 貿易経済協力・気候変動・核不拡散
  - \* 政治弾圧など見通し暗し
- \* 中国＝5年以内に1.5万ドル/人
  - \* 民主化に向かえば中東にも影響

# 変化要因③紛争増大の可能性

- \* 若年層の少数民族の多い国＝紛争↑
- \* 人口構成の成熟化＝国内紛争↓
- \* 世界の不安定要因
  - \* 中国、インド、ロシア、中東
  - \* 天然資源をめぐる紛争
  - \* 核拡散＝とくにイラン、北朝鮮、テロ集団
- \* 米国＝「世界の警察」の役割↓

# 変化要因④不安定な地域

## \* 中東

- \* 石油資源の相対的地位低下
- \* 国境に対する挑戦

## \* 南アジア

- \* パキスタン・アフガニスタンの低成長
- \* インドの就職難
- \* 中国＝社会不安、少数民族
- \* 北朝鮮＝政権維持、核兵器

# 変化要因⑤新技術の影響

- \* IT技術 = 大容量データ時代
- \* サイバーセキュリティの重要性 ↑
- \* 製造技術 = 生産性向上 → 格差社会
- \* 資源関連技術の進化
  - \* 収穫量 ↑、水の確保、太陽光発電
  - \* バイオ燃料、採掘技術
- \* 健康関連技術向上 = 世界平均年齢 ↑

# 変化要因⑤米国の役割

- \* 一極構造→多極化
- \* 相対的低下→「同輩中の首席」
- \* ハード&ソフトパワーでの優位
- \* 地域安定のための「バランスー」
- \* 同盟国の役割 ↑

# 最善と最悪のシナリオ

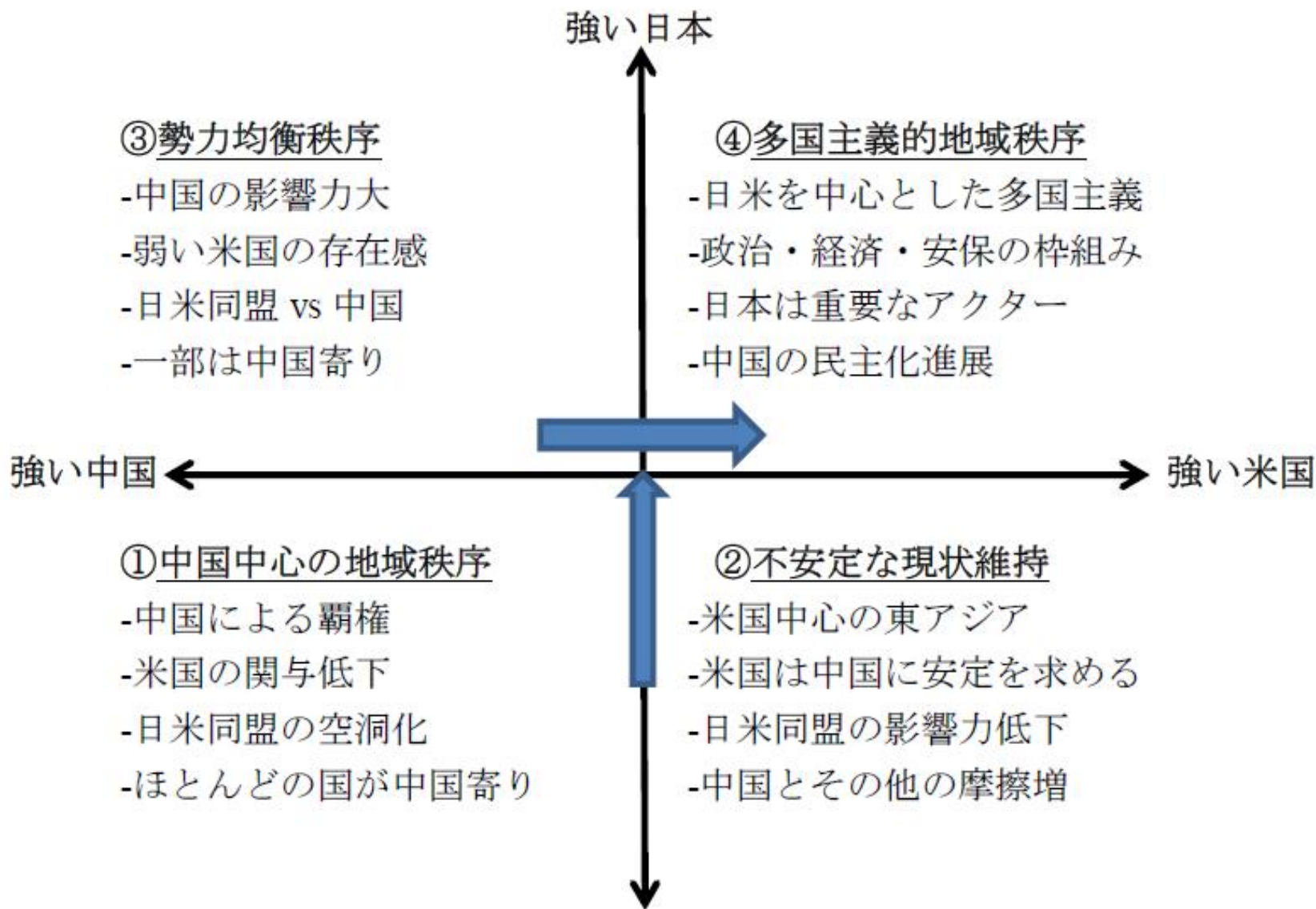
- \* **最善 = 世界の一体化**
  - \* 南アジアの紛争 → 米欧中の連携
  - \* 中国・中東の民主化
  - \* 中台問題・朝鮮半島問題の解決
- \* **最悪 = どん詰まり**
  - \* 米欧の内向き化 → グローバル化の後退
  - \* 地域紛争の増大
  - \* 世界規模の紛争 = 可能性小



# 確実なシナリオ

- \* 格差社会の拡大
  - \* EU内
  - \* 中国国内
  - \* ASEAN内、ASEANの国内
- \* 非国家アクターの台頭
  - \* 多国籍企業、巨大都市
  - \* 富豪・学術機関など

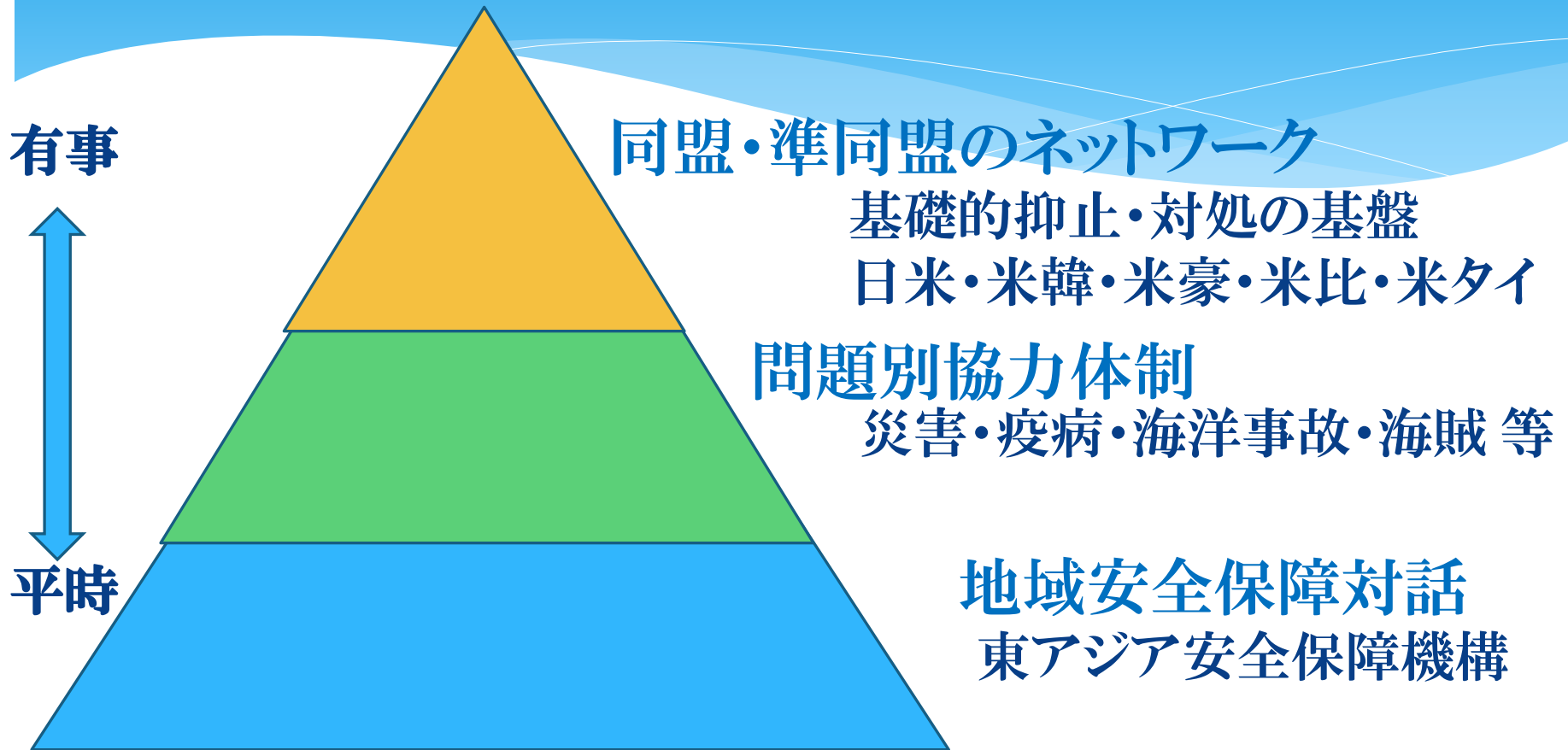
## 2030年アジアの4つのシナリオ



# 課題①重層的な安全保障体制の構築

- \* 同盟関係
  - \* 基礎的な抑止・対処の基盤
  - \* 日米・米韓・米豪・米比・米タイ
- \* 問題ごとの協力体制
  - \* 災害・疫病・組織犯罪・海洋事故・海賊
- \* 地域的レベルの安全保障対話
  - \* ARF、拡大ASEAN国防相会議
  - \* 東アジア安全保障機構

# 安全保障の三層アプローチ



## 課題② 価値観外交の推進

- \* 自由な国民 = 政治安定と経済繁栄
- \* 法の支配・人権・民主主義・環境
- \* 日本流の価値観外交
  - \* ファシリテーターの役割
    - \* 各国の文化・歴史・発展段階を配慮
    - \* 人権と民主化を辛抱強く待つ態度
  - \* スタビライザーの役割
    - \* 価値観共有国と提携

# 課題③ 歴史問題への取り組み

- \* 日本＝「歴史を反省しない国」？
  - \* 中国と韓国＝靖国問題・慰安婦問題
  - \* 欧米＝戦争責任、SF平和条約
  - \* 知的交流と歴史対話の推進
- \* 国家の歴史観＝公的記憶の確立
  - \* 国論の分裂や不用意発言
- \* 歴史教育の充実
  - \* 日本の近現代史

# 課題④グローバルイシューでの貢献

## \* 食糧問題

- \* 農業(稲作)、水産(鮭の養殖)など

## \* 水

- \* 上下水道、逆浸透膜技術

## \* エネルギー資源・環境

- \* 原子力技術、石炭火力発電
- \* 鉄道や港湾の整備



# 課題⑤ 対外発信体制の抜本改革

- \* 適切な人的・財政的資源の配分
- \* シンクタンクへの応援
- \* 日本型チャタムハウスの設立
- \* 優れた放送コンテンツの発信
- \* 広報担当のキャリアトラック
- \* NY,LDNで広報担当の長期的配備

# 南魚沼として何ができるか

- \* 海外の地方都市との提携
  - \* 国家の機能低下 = 都市同士の協力
- \* 海外への技術移転
  - \* 製造業、コメ生産、魚の養殖、農業用水
- \* 技術者移民の受け入れ
  - \* プラチナタウン構想 = 外国人介護者